

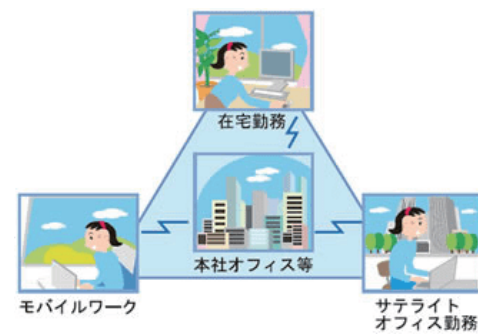
# テレワークはどのようにしておられますか？

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、また緊急事態宣言でも、テレワークの実施が推奨されてきています。そこで今回はテレワークをテーマにして情報をお伝えしたいと思います。

## テレワークとは・・・

『テレワーク（英：telework）あるいはテレコミュティング（英：telecommuting）とは、勤労形態の一種で、情報通信技術（ICT、英：Information and Communication Technology）を活用し時間や場所の制約を受けずに、柔軟に働く形態をいう。「tele = 離れた所」と「work = 働く」をあわせた造語。主にインターネット経由のデータ交換で実現される。』（Wikipedia より）とされています。

そしてまた、一般社団法人日本テレワーク協会のホームページ（<https://japan-telework.or.jp/>）によると、「場所や時間にとらわれない柔軟な働き方として、自宅利用型テレワーク（在宅勤務）、モバイルワーク、施設利用型テレワーク（サテライトオフィス勤務など）の3つの形態」を示しています。



一般社団法人日本テレワーク協会のHPより

テレワークを行う際には、次の3つの要素を考えなければなりません。

## 労務管理

テレワークの実施方法や勤怠管理の仕方など予め定めておくことが重要です。

場合によっては就業規則の改訂やテレワーク勤務規程の策定なども必要かも知れません。

## コミュニケーション



いわゆる Web 会議などを通じて、必要なときに会議をしたり打合せをしたりすることが出来る環境を作ることが大事です。

インターネットのクラウドシステムを利用する Web 会議は無料のものから有料のものまでいろいろあります。

中でも最近では Zoom が良く使われているようです。

（Zoom Basic では 40 分まで無料で 100 人までのミーティングが可能です）

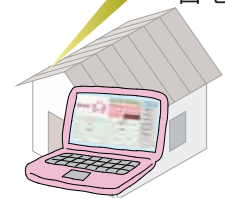


会社

## 情報共有

会社のサーバーに入っているデータを自宅で読み書きしたり、会社のパソコンに入っているソフトを遠隔操作で使ったりして、あたかも会社のデスクで仕事をしているかのような環境を作ることが必要です。

一般的には VPN<sup>①</sup>を構築してその環境を作るのですが、最近では総合脅威管理と訳されている UTM<sup>②</sup>という装置を設置されるところが増えてきています。



自宅

①VPNとは・・・Virtual Private Networkの略。インターネットに接続されている利用者の間に仮想的な通信トンネルを構成したプライベートなネットワークのこと。離れた場所であっても同じ場所にいるかのような作業環境を実現できる。

②UTMとは・・・Unified Threat Managementの略。ファイアウォール機能をベースに、アンチウイルス、不正侵入防御、Webコンテンツフィルタリングといった複数のセキュリティを統合的に管理する手法およびそれら機能が統合された機器のこと。特に人材やコスト面でIT投資にシビアな中小企業において導入効果が高いとされている。

テレワークの導入やテレワーク助成金のご相談はご遠慮なくサポートまで